

1. 事業の位置付け

事務事業名	交通安全啓発推進事業		
事業担当	市民部 くらし安全課		
予算科目	01-020109-040000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	01	①〈安全〉 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	01	1 安全に対する意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
全国交通安全運動など、各種の交通安全啓発運動の実施や幅広い年齢層を対象とした交通安全教室を開催することにより、市民の交通安全意識の高揚が図られています。		交通安全を推進するため、各季の交通安全運動やキャンペーンなどを行います。また、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に交通安全教室を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交通安全教室開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			160	160	160			
活動指標②	指標名	交通事故防止キャンペーン開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			10	10	10			
成果指標①	指標名	交通安全教室参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			15,300	15,400	15,500			
成果指標②	指標名	交通事故発生件数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			2,230	2,210	2,190			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
平塚市交通安全対策協議会による啓発活動及び交通安全教室の継続的な開催により、交通事故件数が減少した。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民に対する啓発活動を実施することにより、交通事故発生件数の減少に寄与しており、必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	教室参加者の意識の向上が見られ、実施することにより交通事故発生件数の減少に寄与しており、交通安全対策上有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	実施することにより交通事故発生件数の減少に寄与しており、妥当である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	個別に行っている教室を合同で行うなどの工夫することが求められる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		交通事故発生件数の減少に寄与していることから、個別に行っている教室を合同で行うなどの工夫しながら、継続して実施する必要がある。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				交通安全教室、各種キャンペーンなどの開催	交通安全教室、各種キャンペーンなどの開催	交通安全教室、各種キャンペーンなどの開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	10,887	12,597	10,958	0	0
事業費 (A)		0	0	10,887	12,597	10,958	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	99.35				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.75	0.75	0.75	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	6,294	6,294	6,294	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	17,181	18,891	17,252	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 交通事故発生件数が減少しており、事業実施による効果が見られることから、引き続き事業を継続して行っていく。	
平成21年度の実行方針	
現状を維持し、現在の減少傾向を維持する。また、平成20年6月1日道路交通法が一部改正されたことにもない、教室・キャンペーン等で更なる周知を図る。	
課長コメント	交通事故発生件数は、平成20年度においても、引き続き減少傾向にある。しかし、全事故に占める自転車事故の割合は増加しており、平成20年度に改正施行された道路交通法の周知と自転車の正しい乗り方を重点として、引き続き啓発活動を強化していきたい。